

2020年度

事業報告書  
収支決算報告書

自 2020年4月 1日

至 2021年3月31日

一般社団法人おいでん・さんそん

## 2020年度事業報告(案)

(2020年4月1日～2021年3月31日)

### 1 事業の概要

一般社団法人おいでん・さんそん（以下「一社 OS」という。）は、都市と山村が抱える課題をひとつながりのものとして捉え、都市と山村それぞれが持つ強みを生かして支え合い、新しい魅力や価値を生み出し、人口減少、高齢社会の下でも、さまざまな暮らしが選択でき、持続可能で人々が幸せに暮らせる社会を実現するために設立され、4年目を迎えた。

今期は、新型コロナウイルス感染症の渦中でスタートし、経済にとどまらない社会不安の広がりに伴う新たな社会課題にも目を向けながら、おいでん・さんそんセンター業務を中心としつつ、すげの里指定管理事業の効果的实施、人材育成事業の長期展望の検討、自主事業としての専門部会事業等を、感染症対策に留意しながら推進した。

新型コロナウイルスは、私たちが志す、支え合い、助け合う社会の重要性を浮き彫りにした一方、集い、思いを共有する機会を奪い、自治を基本とする地域づくりに逆行する山村地域における不動産投機など新たな課題にも目を向けなければならない状況を生み出している。今期の総括も踏まえ、コロナ後の社会を見据えた、新たなフェーズにおける一社 OS の進むべき方向について検討が必要である。

2020年度の重点取組み事項と成果および2021年度に向けての課題は次のとおりである。

#### 【重点取組み事項と成果】

- ① マッチング企業の新展開サポート、新規企業のマッチングを推進し、課題解決、関係人口の拡大を図る。

(株)ワイズ、(株)山恵、足助高校が共働するジビエカレー第3弾「鹿肉欧風カレー」の開発、発売をコーディネートしたほか、新規に(株)ナルセコーポレーションと稲武木の駅プロジェクトなど26件のマッチングに取り組んだ。また、三河の山里起業実践者を中心に5件の起業を伴走支援した。

- ② 定住先進地域のステップアップ支援、立ち遅れ地域への波及、支援に努め、山村地域全体の定住促進の底上げを図る。

地域支え合いシステムの構築を、(株)三河の山里コミュニティパワーと連携して推進する旭地区敷島自治区の事例を下山地区羽布自治区、都市部の保見団地に紹介したほか、コロナ禍中における定住促進策として、Youtube番組「家主さんの悩みを解決！空き家活用のススメ」5本、いなか暮らしの魅力を伝える「いいかも！豊田でいなか暮らし」1本を配信した。

- ③ 中間支援組織の立ち位置を生かした豊森なりわい塾の運営による人材の育成、フィールドとなる地域の活性化を図る。また、ミライの職業訓練校を含む人材育成事業の再構築に向けた検討を行う。

コロナ感染症「緊急事態宣言」を受けて中止した第 10 期豊森なりわい塾に替えて、オンラインコンテンツ「豊森サロン」を開催、卒塾生対象の 4 講座に延べ 122 人、一般公開の 1 講座に 250 人の参加を得、山村振興に果たす人材育成の有用性などを確認した。ミライの職業訓練校は、6 回の全講座をオンラインとし、13 名が受講、再構築の方向性について次年度に継続検討することとした。

④ 「すげの里」指定管理の適確な遂行および拠点として求められる機能の最大化に向けた取組みを推進する。

コロナ感染症「緊急事態宣言」を受けた休館、利用制限などにより利用実績は、昼間 684 人、宿泊 121 人と例年を大幅に下回る結果となったが、指定管理 2 年目となり、防災対策、運営マニュアルなどの懸案を職員提案などにより改善した。次年度には、定住促進の拠点としてのすげの里のあり方について、検討、提言する。

⑤ 「つくラッセル」、「すげの里」など地域拠点との連携、フル活用を図る。

「つくラッセル」への高齢科学未来研究センターの入居仲介、里モビ LIFE プロジェクト支援、すげの里を会場とした「まちさとミライ塾」コンテンツの開催などの連携を図ったが、それぞれの拠点の特色を活かしたフル活用には至っておらず、引き続き推進が必要である。

⑥ 「すげの里」を拠点とした食と農部会の本格化はじめ、チャレンジングな専門部会事業に努めるほか、里モビ互助会、ローカルメディア事業などの自主事業を推進する。

コロナ禍による制約の中でも、食と農専門部会の小農応援サイト「もやいこ」の開設やオンラインでの地域 SB 研、次世代育成部会の「子育て中の母親のオンラインミーティング」など工夫を凝らして取り組んだ。里モビ互助会は、(一社)里モビニティとして法人化され、連携して山村地域における高齢者の移動について研究、実践していく体制が整いつつある。

⑦ 賛助会員、パートナー会員の拡大に努め、ネットワークの拡大を図る。

ネットワーク拡大のツールとして、センターの理念や方向性を効果的に伝えるローカルメディア事業「縁側」を本格スタートした。インタビュー 24 本、コラム 36 本、計 60 本を公開した。賛助会員 1 名(累計 15 名)、パートナー会員 1 名(累計 77 名)と少数の加入であったが、今後努力していく。

⑧ 職員の能力、資質向上に努めるほか、フラット組織など機能的な組織運営のあり方について研究、実践する。

管理職のないフラット組織の試行をスタートしたほか、(株)三河の山里コミュニティパワーと合同で「ティール組織」勉強会を 2 回開催した。また、コロナ禍対応と相まって、在宅勤務、フレックスタイム、IT 環境含む事務所改善など働き方改革に取り組んだ。なお、組織改革を指向し、専務理事の任用、新規職員の採用に取り組んだ。

## 【次年度に向けての課題】

- 課題1 コロナ禍が生み出した新たな社会課題に向き合い、目指す未来の実現に向けた新たな方向性、アクションについて研究・実践する必要がある。
- 課題2 交流コーディネート推進チームを組織し、新規のマッチング、実績事業の新展開サポートを推進し、課題解決、関係人口の拡大を図る必要がある。
- 課題3 移住、起業、就農など「いなか暮らし総合窓口」機能の拡充を図り、「空き家にあかりをプロジェクト2」などを通じ、定住先進地域のステップアップと山村地域全体への波及を図る必要がある。
- 課題4 山村地域をフィールドとする豊森なりわい塾、ミライの職業訓練校の運営による人材の育成、関係人口の拡大、フィールドとなる地域の活性化を図る必要がある。また、足助高校魅力化準備会などを通じて山村地域の教育のあり方について探求する必要がある。
- 課題5 「すげの里」指定管理の適確な遂行および拠点として求められる機能の最大化に向け、「つくラッセル」などの地域拠点や団体等との連携を推進する必要がある。
- 課題6 目指す社会の実現に向けたテーマ別の専門部会事業の活性化に努めるほか、（一社）里モビニティ、（株）三河の山里コミュニティパワーなど関連する団体との連携を図る。

## 2 事業の実績

別紙 「令和2年度事業実績報告書」参照

以上

# 令和2年度おいでん・さんそんセンター事業実績

## (1) 総合窓口の運営 交流・連携に関する相談、受付、取次ぎ、調査等

|       | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月  | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月  | 合計   |
|-------|----|----|----|----|-----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|------|
| 来客(人) | 71 | 53 | 64 | 91 | 102 | 86 | 158 | 46  | 54  | 76 | 88 | 117 | 1006 |
| 相談(件) | 7  | 13 | 21 | 17 | 14  | 14 | 16  | 6   | 10  | 22 | 12 | 19  | 171  |

## (2) 都市と山村のコーディネート 交流に関する都市と山村の地域・企業・団体等との交渉・調整・マッチング・実施支援

### 「マッチング実績」

企業・労組6件、大学・研究機関4件、農林・環境体験10件、まつり・イベント・その他6件 **計26件**

### 「生業創出者数」

丹羽亜紀子さん(足助町・カフェ開業) / 三河の山里なりわい実践者の伴走支援: 川合弥代さん(足助・出張美容事業)、大山泰介さん(稲武・空き家管理事業、西尾昌直さん(稲武・キャンプ場×園芸事業)、鈴木孝典さん(小原・地域プレミアムツアー事業) **計5件**

### 主なマッチング事例

| 分類                 | マッチング名                              | 地域    | 概要(合計27件1,581人)                  | 交流人数 |
|--------------------|-------------------------------------|-------|----------------------------------|------|
| 企業・労組              | (株)ワイズ×(株)山恵、足助高校、その他関係者            | 足助    | 「とよた里山鹿肉欧風カレー」商品開発               | 377  |
|                    | トヨタ自動車労組×桑原棚田の景観を守る会、桑原棚田を再生する会     | 稲武    | 棚田の景観整備(草刈り応援)                   | 58   |
|                    | (株)ナルセコーポレーション×稲武木の駅プロジェクト実行委員会     | 稲武    | 間伐材の搬出ボランティア                     | 5    |
|                    | <b>他3件含む 計464人</b>                  |       |                                  |      |
| 大学・研究機関            | 東京農大OB太田光明氏 他×つくラッセル                | 旭     | 動物セラピー研究拠点の開設                    | 3    |
| <b>他3件含む 計10人</b>  |                                     |       |                                  |      |
| 農林・環境体験            | トヨタ生協、JA あいち豊田×どんぐりの里いなぶ、出荷農家       | 稲武    | 【コロナ禍支援】道の駅閉鎖に伴い販路を失った野菜の柳津販売協力。 | 10   |
|                    | スーパーやまのぶ×徳八農園、KINOファーム              | 足助、下山 | 【コロナ禍支援】行き場を失った農家の野菜の仕入れ販売。      | 6    |
|                    | 文化振興財団互助会×つくば元気クラブ                  | 旭     | 【コロナ禍支援】利用施設の休業で販路を失った米の受注販売。    | 34   |
|                    | 朝日丘コミュニティ×つくば元気クラブ                  | 旭     | 同上                               | 163  |
| <b>他5件含む 計275人</b> |                                     |       |                                  |      |
| まつり・イベント・その他       | 参加者×芳友町                             | 石野    | 万灯祭りの参加者募集と当日対応                  | 46   |
|                    | JA あいち豊田×(株)とよた山里HD、いなぶ観光協会、出展者、来場者 | 稲武    | 山里マルシェの開催支援                      | 843  |
| <b>他4件含む 計932人</b> |                                     |       |                                  |      |

## (3) 集落活動応援隊事業の運営 共同作業の実施が困難な小規模高齢化集落にボランティアを派遣し、交流しながら集落活動を応援

### ■集落応援隊の派遣: 4地域6回 のべ33人

| 活動日       | 活動場所       | 応援隊   | 集落    | 活動内容               |
|-----------|------------|-------|-------|--------------------|
| 6/20・9/19 | 岩下町(小原地区)  | 8人・7人 | 9人・9人 | 集落内市道の草刈り作業        |
| 8/9・11/1  | 市平町(旭地区)   | 3人・5人 | 7人・8人 | 集落内市道の草刈り作業        |
| 7/5       | 三ツ久保(小原地区) | 7人    | 16人   | 集落内市道の草刈り作業        |
| 7/19      | 梨野町(下山地区)  | 3人    | 20人   | 集落内市道の草刈り作業        |
| 10月       | 旭八幡町(旭地区)  | 中止    |       | 会社例祭にむけた環境整備、お祭り準備 |
| 12月       | 日下部町(旭地区)  | 中止    |       | 梅まつりに向けた梅の木の選定作業   |

## (4) 都市山村交流促進に向けた情報発信(コーディネート事業等のみ見える化) 様々な媒体を活用し、センター及びセンターでつながる活動主体の取組をPR

- 「おいでん・さんそんSHOW」の月1回発行。各支所・交流館、区長・地域会議委員、市内各施設等に配布
- ホームページでの情報発信
- インターネット・ソーシャルネットワークでの情報発信

|                 | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| HPアクセス数(件)      | 2,851 | 3,131 | 3,165 | 3,043 | 3,514 | 4,739 | 5,052 | 4,148 | 3,346 | 5,433 | 5,987 | 5,528 |
| Facebook いいね(件) | 2,020 | 2,022 | 2,031 | 2,033 | 2,032 | 2,032 | 2,041 | 2,044 | 2,048 | 2,058 | 2,072 | 2,081 |

## (5) いなか暮らし総合窓口の設置と運営 市の定住支援策を一元的に紹介、コーディネートを行うとともに、民間活動団体等との連携により、生業や暮らしを支援

### ■移住相談 ※オンラインによる移住相談も受け付け開始

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 0件 | 5件 | 3件 | 0件 | 2件 | 1件 | 5件  | 2件  | 2件  | 4件 | 1件 | 5件 | 30件 |

### ■移住受入れスタートガイドなどを活用した啓発(出前講座)

・地域が主体的に移住者を受入れる取組を後押しするため、出前講座を実施。今年度はコロナ禍のため開催が大幅に減った。(前年7件 230人参加)

|   | 主な地域名        | 参加人数 | 実施日   |
|---|--------------|------|-------|
| 1 | 羽布自治区定住勉強会   | 20人  | 9月10日 |
| 2 | 保見団地オンライン講演会 | 15人  | 1月24日 |
| 計 |              | 35人  |       |

### ■空き家情報バンク制度の支援

2/9 滝脇町空き家内覧会 4家族

## (6) 山村地域移住プロモーション 山村地域への移住促進のため、移住者を受け入れの気運を作る

### ■「空き家にあかりを！プロジェクト2」

動画を2種類制作し、豊田市公式Youtubeチャンネルにて配信。

### ■「家主さんの悩みを解決！空き家活用のススメ」

空き家活用にふみ出せない家主の悩みを解決することで、空き家バンク登録数を増やすことを目的に動画を制作。毎回テーマに合ったゲストが、一問一答形式で家主の悩みに答えている。1回5分前後の番組を33本配信予定(今年度は5本公開)。



# 令和2年度おいでん・さんそんセンター事業実績

## ■「いいかも！豊田でいなか暮らし」

足助、旭、小原、稲武、下山の空き家に移住した5組を撮影し、田舎暮らしの魅力が伝わる動画にした。

## ■とよたでつながるローカルメディア縁側の運営

インタビュー24本、コラム36本を掲載。年間でユーザー数13,729、ページビュー数94,314を獲得した。

## ■いなか暮らし博覧会の開催

豊田市及び近隣市の子育て世代親子を対象に「しっかり田舎で体験する私らしい暮らし・しごと・あそび」をテーマにした8つの体験プログラムを実施。新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止になったプログラムもあったが、イベント型の「いなかとまちの文化祭」の来場者もあり、多くの参加者があった。「山村の“ほんもの”の体験」を提供。

## (7) イベント、視察

### センターPR、いなかとまちの交流事業、視察

#### ■いなかとまちのくるま座ミーティングの開催

日時：令和3年2月6日（土）13:00～16:15 足助支所より配信、完全オンライン開催

参加申し込み：104名 内リアル視聴者：80人前後（その他 オンデマンド視聴）

第1部講演 井上岳一（いのうえたけかず）氏：日本総合研究所創発戦略センター シニアスペシャリスト

テーマ「日本列島回復論～愛と希望の山水郷～」

第2部講演 内山節（うちやまたかし）氏：哲学者

テーマ「コロナ禍の先にある新しい社会の創造」

第3部 トークセッション／質疑応答

登壇者：井上岳一氏、内山節氏、鈴木センター長、

コーディネーター： 澁澤寿一氏（豊森なりわい塾塾長）

テーマ『コロナ後の社会と山村のミライ』



#### ■いなかとまちの交流イベントの開催・協力

・第9回いなかとまちの文化祭～こころを耕すくらしのマルシェ～

日程：10/31 参加者：約500人

会場：とよしば（豊田市駅前UFJ跡地）、GAZA南広場

テーマ：「新しい風がふいている」～地に足をつけて生きる～

ステージ&ワークショップ

ゲストトーク：金子潤氏（コーディネーター・進行：洲崎燈子氏／鈴木辰吉）

ほか、はだしワークショップ／山里ミュージシャンのライブ／ライブペインティングなど

こころを耕すくらしのマルシェ：豊田の農家の野菜や加工品、木材加工体験、五平餅等飲食物販売ほか



## (8) 人材育成

### 豊森なりわい塾

#### ■令和2年度豊森なりわい塾

・第10期募集：4/5募集説明会実施（参加者42人）。入塾応募は29人あったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の社会的要請を受け、新規入塾者受け入れは中止。卒塾生対象の連続オンラインコンテンツ「豊森サロン」を実施。

・豊森サロン（全5回講座）：詳細は『令和2年度豊森サロン 報告書』参照

・運営：実行委員会総会 計2回、実務者レベル会議 計28回、事務局会議 計11回、運営会議 計7回、豊森サロン検討会議 計8回、豊森の今後を検討する会議を計2回実施

#### ■令和3年度第10期豊森なりわい塾

・準備：募集チラシ作成、3月配布し、HP、SNS、耕Lifeで告知、プレスリリース

## (9) 参考

### 豊田市里山くらし体験館 管理運営

■令和1年度4月より豊田市里山くらし体験館の指定管理を受託（足助支所所管）。管理者2名、スタッフ10名（昼間7+夜間3）。傷病による退職があり新規採用を行い研修やミーティングで管理や操作の習熟を図り運営を行う。本年度は新型コロナウイルス感染防止の為に臨時休館や利用制限、自主事業や新盛里山耕との共催イベントの大半を中止した為、利用実績（昼間648人+宿泊121人）が大幅に減少した。

3密を避けた市民農園事業や高校生の職場訪問プログラムの受入れ、とよた男女共同参画センターの講座の開催等や「いなか暮らし博覧会」のプログラム開催等で、利用促進に取り組んだ。

## (10) 各専門分野の取組状況

### 様々な組織・企業・団体とともに課題解決の方策等について検討

\* H29から専門部会は一社おいでん・さんそんの自主事業として実施

■移住・定住専門部会 休会中

■地域スモールビジネス研究部会（オンライン開催）

部会開催 4/21、5/19、6/22、7/20、8/21、9/23、11/17、12/21、1/21、2/16、3/8 全11回

■森林部会

○部会の開催6回 ○半農半林塾第7期 9回 ○原木しいたけ栽培研修第2期 1回

○とよた森林学校 運営協力と今後の方向性協議 ○「森へのお誘い」自然観察とブチ間伐体験 10/25開催

■次世代育成専門部会

○4/29、5/21 オンライン「旭の森のおしゃべり会」

○8月5日(※) 萩野子どもの居場所視察 →おいでん・さんそん show9月号特集

○11/15 しもやマルシェ

○12/10 足助地区子育て支援関係機関情報交換会

■セカンドスクール専門部会

○幹事会の開催 全7回（4/20、6/15、7/20、9/14、10/19、12/14、2/15）

○[2020夏（仮）フリー版] プログラム開催 計18名

●山のこどもになる！3日間（稲武地区）8/6 18名

●山のかくれがで遊べ！（旭地区）、山っ子くらぶ（旭地区）…主催者側で中止

●おいしい体験 in 下山（下山地区）…参加団体より中止

●[2020 学校版] 五ヶ丘小学校（下山地区）…学校からの希望で中止

○セカンドスクール春フリー版 計37名

あさひ山里ぼうけん遊び隊（旭）3/27～29（9名）、

足助の萩野の子になっちゃおう（足助）3/26（3家族9名）、

山のこどもになる！（稲武）3/30（19名）

おいしい体験 in 下山（下山地区）…主催者側で中止

■食と農専門部会

○7/1 とよたでつながる食と農サイト『もやいこ』開設

○10/20 食と農専門部会

○1/9 食と農サミット（会場 すげの里）→中止

■ネットワーク拡大部会

| 正社員     | 賛助会員    | パートナー会員 |
|---------|---------|---------|
| 25人(団体) | 15人(団体) | 77人(団体) |

